

応募者名	佐賀県佐賀市	分野	観光、文化、娯楽
取組名称	スポーツ×イノベーションでWell-beingなまちへ	取組地域	佐賀県佐賀市

概要	
取組内容	イノベーションでスポーツが持つ真のチカラを引き出し、Well-beingなまちづくりへ。地方創生2.0を実現する課題解決型プラットフォーム「佐賀市公式スーパーアプリ」は5.7万ダウンロードを突破し、地方の課題をイノベーションで解決するミニアプリのアクセス数は月間9万件を超える。 佐賀から始まった国スポ大会の入場券の申込や競技情報、駐車場の空き状況等の欲しい情報がリアルタイムに届く。モビリティアプリでタクシーも呼べ、ライドシェアや自動運転バス等の地方の移動手段も充実。地元プロスポーツのチケット購入で、スポーツを「みる」「支える」そして「稼ぐ」ことでシビックプライドを醸成し、地域経済の好循環を図る。
実績や効果	【スーパーアプリダウンロード数】57,620件 【ミニアプリクリック数】91,600回/月 【プロバスケットチーム平均観客数】5,061人 【シェアサイクル利用者数】4,000回以上/月 デジタルの力でスポーツの「みる」「支える」「稼ぐ」の仕組みを構築。シビックプライドの醸成と地域経済の好循環に結び付いた。
取組全体を通じて訴えたいポイント	イノベーションでスポーツが持つ真のチカラを引き出し、Well-beingなまちづくりへ。スポーツの魅力向上やモビリティでの移動手段、地域経済の好循環につながる仕組みを構築するために課題解決型プラットフォーム「佐賀市公式スーパーアプリ」を活用。様々な分野で「こんなの欲しかった！」のみんなの声に応えている。

詳細	
地域の課題解決・魅力向上	スポーツもイノベーションで進化する中、国体から国スポへ変わるはじめての大会となるSAGA2024。市民も市外から訪れる方にとっても、「便利で快適な体験ができるまち」へ進化するためにデジタルの力をフル活用し、スポーツの魅力の情報発信やモビリティでの移動手段、地域経済の好循環につながる仕組みを構築。
独自性・先進性	地方創生2.0を実現する課題解決型のプラットフォームで、みんなのデジタルタッチポイントとなる「佐賀市公式スーパーアプリ」を活用し、スポーツの「する」「みる」に加え、官民連携で「支える」、チケットやグッズ購入で「稼ぐ」仕組みを構築。またタクシーが呼べる民間アプリとの連携は自治体アプリでは全国初の取り組み。
持続性・発展性	地方の課題とイノベーションを結び付け、スポーツの力やモビリティで地方の移動手段を充実させ、シビックプライドの醸成や地域経済を好循環していくことでWell-beingなまちづくりへ。みんながつながるスマホのスーパーアプリをデジタルタッチポイントとすることで、様々な分野へ取り組みが広がり更に進化していく。
他地域への横展開	課題解決型プラットフォーム「佐賀市公式スーパーアプリ」は共通クラウド化し、他自治体へ既に横展開中。スポーツやモビリティ等のコンテンツ「ミニアプリ」も共同利用することで、コスト削減や進化が期待できる。プラットフォームのみならず、関係者との調整プロセスやノウハウ等もオープンにし、みんなで創り上げていく。
取組を進めるうえで苦勞した点	国スポミニアプリの実装において、当日の競技や地元チームの出場競技などをデータ管理し、アプリに反映する仕組みを構築。今欲しい情報がリアルタイムで届くように、市民、参加者等のユーザー目線を最優先にUI/UXをデザイン。また、次回大会や他のイベント等への横展開も見据え、汎用性を重視した仕組みづくり。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	市民、地域、企業、行政等関係者が同じ気持ちになって、スポーツとイノベーションで、みんなが楽しめる、幸せを感じる大会にするために取り組んだ。その中で、リアルタイムな情報発信や移動手段などの地方の課題を解決するため、スーパーアプリやモビリティなどのデジタルを活用した方策をみんなで考え、実行したこと。
今後の展望	地方の課題とイノベーションを結び付け、まちぐるみでシビックプライドの醸成や地域経済を好循環していくことでWell-beingが向上する。今後もスポーツをはじめ、交通・観光・経済など様々な分野でデジタルをフル活用し、みんなが同じ方向や共通認識を持ち、課題解決やサービス向上を目指す仕組みを構築していく。